陸橋の下ステップアッププロジェクト

２月中旬、両城小学校６年生が出張所に訪れ、「呉陸橋下の壁面に卒業の思い出に絵を書きたい」との申し出がありました。通学路にある国道３１号、呉市三条３丁目の陸橋下は管内の中でも広範囲にわたり落書きがひどく、ハトのフン公害にも悩まされていました。陸橋の下ステップアップ計画と名付けられ「ハトよけ隊」、「落書き消し隊」２つのプロジェクトで始まりました。

ハトの糞・羽が散乱している陸橋下でハトを追い払い穴を板でふさぎ、きれいに洗い流しました。次に長さ約２０m、高さ約３mの壁面に書かれている落書きを消し、自分たちのデザインした両城の町並みと自然をテーマに絵を描き、思い出のつまった卒業記念壁画を完成させました。

壁画がみんなの手で生まれ変わりました

完　成！！

近年、広島県内でも落書き等による道路設備の被害報告が急増してきています。落書きはＪＲ沿線や歩道橋、地下歩道、護岸などに書かれ、どんどん悪質化・巨大化してきている状況です。落書きを元に戻そうとすると大きさにもよりますが１回約数万円〜数十万円もかかり、とても大きな出費になっております。落書きは単なるいたずらではありません。器物損害等の犯罪です。被害に遭われたり、目撃された方は情報をよせて下さい。

速　報

国道185号休山新道が供用を開始し2週間がたち、このたび交通実態調査結果報告（速報）が届きました。
開通前には、呉市本通6～阿賀中央6間が平均25分（渋滞時）かかっていましたが、休山新道開通後、呉越峠で約7分、休山新道を通ると約6分と、国土交通省が予想していた1／3短縮をはるかに上まわり、通行時間が1／4まで短縮されました。

＊春の全国交通安全運動実施中＊

平成１４年4月6日（土）～15日

までの１０日間

全国で一斉に春の交通安全運動が始まっています。

呉市では人口の約7割近くが免許取得者です。
ここ数年、死亡事故数は減少してきていますが、事故件数は少しずつですが増加傾向にあります。また残念なことに事故件数の約3割が呉国管内　国道31・185号で起こっています。その中でも呉警察管内の交通事故多発交差点分析で、ワースト3に国道31・185号が並んでいます。（右表）

呉国では、3箇所の交差点の対策を考えていますが、皆さんも交通期間中だけでなく、安全運転に心掛けて下さい。

呉市交通事故多発交差点

Warst,3

１．	呉市三条３丁目交差点	39件
２．	呉市本通４丁目交差点	26件
３．	呉市本通６丁目交差点	21件

（平成１２年度）

★　次号をお楽しみに　☆